

令和2年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業 「体験の風をおこそう推進月間」事業
三瓶の魅力を体験する「今年はさんべの応援に来てくだ祭」

1 趣 旨

- ・様々な体験活動プログラムを通して、三瓶地域の良さを知り、自然や体験活動への興味、関心をもってもらおう。
- ・家族と一緒に活動する楽しさを味わってもらおう。



2 事業の概要

- (1) 期 日 令和2年10月10日(土)・11日(日)<日帰り>
 (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家
 (3) 協 力 坂本農園・さんベクライマーズクラブ
 (4) 対 象 島根県内の2人以上の家族・グループ
 (5) 参加者 10日(土)88名 11日(日)129名 計217名
 (6) 日程・内容

【体験活動①】「秋の自然を感じよう！」 ☆小学生以上対象

日程	9:30 10:00	～	15:00
10/10(土) 10/11(日)	受付	三瓶山登山(名号登山口～女三瓶山～室の内池～孫三瓶山～女夫松登山口) ※食堂でおにぎり弁当(2個入)415円を注文します。(キャンセル不可) ※下山後、女夫松登山口から交流の家までの送迎バスを出します。 ※荒天時は木の葉のスタンプバックをつくります。その後は、温泉、島根県立三瓶自然館サヘル・さんべ縄文の森ミュージアム見学 等をお楽しみください。	

【体験活動②】「秋の味覚を発見しよう！」 ☆幼児から参加可能

日程	9:30 10:00	～	12:00 13:30	～	15:30
10/10(土) 10/11(日)	受付	坂本農園 さつまいも掘り	昼食 交流の家	焼き芋づくり&自然観察 ※荒天時には、創作活動等内容の変更がありますが、焼き芋はつくります。	

【体験活動③】「秋はニュースポーツを満喫しよう！」 ☆幼児から参加可能

日程	9:30 10:00	～	12:00 13:30	～	15:30
10/10(土) 10/11(日)	受付	(1)ボルダリング (2)カローリング・ディスゲッター (キッズ用ボルダリングもあり)	昼食 交流の家	(1)カローリング・ディスゲッター (2)ボルダリング (キッズ用ボルダリングもあり)	

※午前・午後で活動を入れ替える。

【体験活動④】「秋はゆったりと自然を堪能しよう！」 ☆小学生以上対象

日程	9:30 10:00	～	12:00 13:30	～	15:30
10/10(土) 10/11(日)	受付	(1)オリエンテーリング 雨天時：室内オリエンテーリング (2)サイクリング 雨天時：焼き板づくり(1セット 350円)	昼食 交流の家	(1)サイクリング 雨天時：焼き板づくり(1セット 350円) (2)オリエンテーリング 雨天時：室内オリエンテーリング	

※午前・午後で活動を入れ替える。

3 事業の特色

(1) 事業の特色

例年、三瓶山周辺地域の施設と共同で開催している「さんべ祭」が中止となったため、国立三瓶青少年交流の家を会場に日帰りで実施できる体験活動を提供することにした。登山、さつま芋掘り、ボルダリング、オリエンテーリング、サイクリング等の自然の中で季節を感じたり、しっかり体を動かしたりする体験プログラムを集めた。

(2) 運営のポイント

魅力ある体験プログラムの提供と新型コロナウイルス感染症への対策の2つの課題を解決することが事業実施の大きなハードルとなった。様々なケースを考えて協議した結果、4つの体験活動を実施することに決定した。眼前にそびえる三瓶山への登山、坂本農園の協力による芋ほりと焼き芋、さんべクライマーズクラブの協力でロープを使うフリークライミングを含めた様々なスポーツ体験、自然の中で活動するオリエンテーリングとサイクリングを用意することができた。また、天候に配慮した準備をすることで、荒天となった事業1日目は、登山希望者へのボルダリング体験、焼き板づくりや室内オリエンテーリングを提供することができた。

4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計 58家族回答(家族)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	50	8	0	0
プログラム	49	9	0	0
運営	50	8	0	0
職員の対応	56	2	0	0

(2) 参加者の声

- ・親子でとても楽しい時間を過ごすことができました。子供ものびのびと楽しんでいました。自分達だけですると子供が途中で飽きてしまうのですが、スタートから最後まで存分に楽しんだようです。
- ・ボルダリングは、ずっと興味があったのですが、初めて体験させてもらい、とても面白かったです。親子で一緒にたくさん体験でき、良い1日になりました。

5 成果と課題

《成果》

- ・コロナ禍で様々なイベントが中止される中、参加者は、イベントを楽しみに参加し、充実した一日を過ごすことができた。芋ほりと焼き芋づくりは、そのまま秋を感じることができた。フリークライミングは、初めての試みであったが、大人も子供も積極的にチャレンジしていた。雨の降る時間もあつたものの、活動内容を組み替え実施することで満足してもらうことができた。

《課題》

- ・感染症予防で参加人数を制御し、参加者の取りまとめや雨天時のプログラム変更の調整を行うことに負担がかかった。様々な条件の中で、受け入れができたことを、今後に活かしていきたい。

